

## 令和3年度 高知県死因究明等推進協議会議事要旨

日時:令和4年3月29日(火) 18:30~19:50

場所:Web開催形式(配信会場:高知県庁地下1階 第3・4会議室)

出席者:古宮委員(会長)、坂本委員(副会長)、小松委員、濱田委員、巴委員、川上委員、筒井委員(計7名)

【オブザーバー】厚生労働省医政局医事課死因究明等企画調査室 小林室長補佐

【事務局】医療政策課 浅野課長、宮地補佐、東山チーフ、長崎主査

### 1 開会

・筒井委員から開会の挨拶

### 2 死因究明等施策の推進について 資料1~資料3

・厚生労働省医政局医事課死因究明等企画調査室 小林室長補佐から資料1~3を基に、死因究明等推進基本法や地方協議議会運営マニュアルについて説明

### 3 会長、副会長の選任について

・濱田委員が古宮委員を会長に推薦 → 全委員の賛成により、会長は古宮委員に決定

・古宮会長が坂本委員を副会長に指名 → 坂本委員の承諾により、副会長は坂本委員に決定

### 4 高知県における死因究明等の推進のために取り組むべき重点項目の見直しについて 資料4

(事務局)

・令和3年6月に死因究明等推進計画が閣議決定されたことを踏まえ、各委員には本協議会の重点項目の見直しについて意見照会させていただいていたところであるが、特段意見はなかったため、現行の重点項目を用いて引き続き取組の進捗管理を行っていきたい。

・また、今後の見直しについては、死因究明等推進計画の見直しのタイミングと合わせて3年に1回を目処に行っていきたいと考えているが、よいか。

→全委員了承

### 5 情報共有事項について 資料5

・県警から大規模災害関連として、各市町村の検案所の選定状況、検案所の資機材の整備状況の2点について提案があり、関連機関の県から資料5のとおり回答。

### 6 令和3年度の実績について 資料6

・令和3年度の実績の一覧表である資料6に基づき、項目毎に各機関から説明

○質疑1【項目2 県警の実績について】

(委員)令和3年度の実検官の臨場率、アイベックススクリーンの検査率、解剖率は、これまでと比べ大きな変化はないか。

(県警)近年ほぼ横ばいで推移している。

○質疑2【項目3 県の取組関連】

(委員)ACPの啓発ポスターの作成、配布とあるが、発行部数と配布先は把握しているか。

(事務局)所管課に確認のうえ、後日回答させてもらう。

→ポスター5,000部、改訂版パンフレット5,000部を発行し、医療機関等合計1,659施設に配布

○質疑3【項目4 県警の取組関連】

(委員)Aiの実施件数と実施施設数はこれまでと比べ大きな変化はないか。

(県警)両方とも大きな変化はない。

○質疑4【項目5 歯科医師会の取組関連】

(委員)身元確認作業の講習・訓練の動画は、どのような形式で視聴してもらうのか

(歯科医師会)Webで配信しており、これまでに高知市の歯科医師会会員の約60名が視聴している。今後は動画を活用して各地区単位で人材育成の取組を進めていくことを目指している。

○質疑5【項目6 県警の取組関連】

(委員)遺族への説明に関する研修等は実施しているか。また、遺族への説明の際にトラブルになった事例はあるか。

(県警)研修等は特段実施しておらず、業務の中で技能を習得している。トラブルについては、遺族が解剖に同意せず、令状で遺体を差し押さえたこともある。また、事件性が低い場合は遺族が解剖に否定的なこともあるので対応には配慮しており、事件性を否定するための解剖であることを説明している。

## 7 その他

○事務局からの報告事項について

(事務局)今年度は委員向けの研修会の予算を確保していたが、これまでの協議会で意見としていただいていた、死因究明の取組周知のための研修会とは対象者が異なることや、新型コロナウイルスの感染状況が収束しなかったことから、開催は見送りとしたが、改めて研修会開催の必要性等を検討のうえ、必要に応じて予算確保に向けて動いていきたいと考えている。

○来年度の協議会の開催時期について

(事務局)2月頃の開催を考えているが、よいか。

→全委員了承

## 8 閉会

・浅野課長から閉会の挨拶